

## 第23回 全日本少年少女空手道選手権大会 形競技個人戦 解説

### ① 予選 1回戦～3回戦（ベスト8が決まるまで）旗方式トーナメント／2名同時演武

基本形一から四 ・ゲキサイ第一 ・ゲキサイ第二 ・平安初段～五段 ・ピソアン初段～五段	<ul style="list-style-type: none"><li>トーナメントのため、勝ち上がりの段階で帯の色が変わる場合があるので、赤、青両方の帯を持参すること</li><li>コートのコーナーから演武位置まで斜めに入場する</li><li>演武開始の礼の後、赤、青の順に形名を呼称する</li><li>主審の短笛の合図の後、演武を開始する</li><li>演武終了の礼の後、選手はコートエンドまで下がって判定を待つ</li><li>判定の後、お互いに礼、正面に礼をして退場する</li><li><u>3回戦（4回戦）進出者は、形エントリーカードに3回戦（4回戦）の演武形名を番号で記入し、コート係員に提出する</u></li><li><u>準決勝ラウンド進出者は、形エントリーカードに準決勝ラウンドの演武形名を番号で記入し、コート係員に提出する</u></li></ul>
---	---

### ② 準決勝ラウンド 得点方式／2名同時演武

・第一指定形 ・第二指定形 ・①予選で使用していない基本形	<ul style="list-style-type: none"><li>8名の競技者は2つのグループ（Aグループ・Bグループに分けられる）</li><li>各グループ4名の演武順はシステムにより自動的に抽選される</li><li>演武順1番と3番は赤帯を、2番と4番は青帯を締めること</li><li>入退場、演武開始終了に関することは予選と同様となる</li><li>4名の演武が終了した時点で順位を発表する</li><li>各グループの1位から3位までの選手が決勝ラウンドに進む</li><li>1位は決勝戦、2位と3位は3位決定戦、各グループ4位は全体の7位が確定する</li><li><u>決勝ラウンド進出者は、形エントリーカードに決勝ラウンドの演武形名を番号で記入し、演武するコートの係員に提出する</u></li></ul>
同点の処理	・電子システムによる同点解決方法を採用する

### ③ 決勝ラウンド 得点方式／3位決定戦は2名同時演武／決勝戦は1名ずつ演武

・①②の本戦で使用していない 第一指定形 第二指定形 基本形	<ul style="list-style-type: none"><li>Aグループから決勝ラウンドに進む選手は赤帯を、Bグループは青帯を締める <b>【3位決定戦】</b></li><li>入退場、演武開始終了に関することは予選、準決勝ラウンドと同様となる</li><li>演武終了後、ジャッジ1は選手の間に立って勝者を宣告する</li><li>宣告後、ジャッジ1の号令により、お互いに礼、正面に礼をして退場する <b>【決勝戦】</b></li><li>各学年女子はBコート、男子はCコートで行う</li><li>赤、青の順に演武する</li><li>両名の演武が終了したら、ジャッジ1は選手の間に立って勝者を宣告する</li><li>宣告後、ジャッジ1の号令により、お互いに礼、正面に礼をして退場する</li></ul>
同点の処理	・電子システムによる同点解決方法を採用する